特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの

平成 30 年度 第 17 回総会

平成 30 年 6 月 2 日（土） 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

資 料

（審議事項）

議案 1　　平成 29 年度事業報告および決算報告

事業報告書:　　別紙1－1参照

収支計算書:　　別紙1－2参照

監査報告:　　別紙1－3参照

議案 2

役員の変更:　　別紙1－4参照

（提案事項）

提案 1　　平成 30 年度事業計画及び収支予算

事業計画:　　別紙2－1参照

収支予算:　　別紙2－2参照

別紙1－1　平成 29 年度事業報告書

§1. まちづくりに関する調査研究事業

1. まちの現状や計画、まちづくり制度に関する情報収集及び研究

①景観・観光をテーマにしたまちづくりの検討

事業内容１：　市外も対象とした景観ウォッチングと勉強会の継続的な実施（南）

平成 27 年から 3 年間にわたって実施した武蔵境圏、三鷹圏、吉祥寺圏の景観ウォッチングは、昨年度の東町で一通り終了したため、今年度からは、景観にかかわるテーマを設けたウォッチングを実施することを検討した。なお、今年度においては、山田氏の提案により古民家ウォッチングが実施された。

事業内容２：　武蔵野市景観ガイドラインの検証（南）

平成 29 年の 4 月に発行された「武蔵野市景観ガイドライン」は、まちづくり条例に組み込まれた「景観に関する項目」に対応してその考え方や施策例を整理したものであるため、本年度においては、市民の理解を促すためのより分かりやすい資料として「景観まちづくりの手引き」が市によって策定された。本会では、今年度はこの「景観まちづくりの手引き」の策定を支援した。

事業内容３：　5 月 21 日（日）14:00～16:30　市主催の景観シンポジウムにパネリストとして参加・協力（南）

「私たちの暮らしと景観～景観まちづくりをはじめよう～」をテーマとして武蔵野商工会館で開催された景観シンポジウムのパネルディスカッションにパネリストとして南が参加し、武蔵野市らしい景観まちづくりと景観ガイドラインの役割等に関する議論を行った。

事業内容４：　住民向け景観ガイドラインに関する必要に応じた作成支援（南）

市が取りまとめを行った市民向け景観ガイドラインについて、市民アドバイザー3 名のうちの 1 名を本会から派遣をとの市からの要請を受け、本会からは南が参加した。5 回の会議を経て本年 4 月に「景観まちづくりの手引き」が発行された。

事業内容５：　武蔵野市の景観の要素として重要な古民家や庭が失われつつあるため、基本的に戦前に建てられた住宅等のデータベース構築に向けて検討を始め、情報収集やウォッチングを行う（山田）。

3 月 21 日実施予定が雪のため延期になり、4 月 7 日（土）午前 9 時 30 分より実施（12 名参加）。順路；　北口より本村公園を行き新武蔵境通りから堀合遊歩道途中の古民家を眺め、今後新しい施設が計画されている浄水場の南縁（玉川上水）を西へ。境冒険遊び公園の脇を南へ、途中高橋邸大ケヤキを見ながら南へ境 1 丁目辺りの古民家を探索し、今は無き元の湯高橋様住宅の古民家について奥様よりお話を頂いた。境 2 丁目の農地を南へ。駅高架を過ぎて西通りの状況を見ながら南口から北口へ

戻る。11 時半を目途に北口の新しい駅脇の建物（市政センター）1 階のカフェで総括。

事業内容６：　昨年度からの課題の継続検討（景観アワードやランキング公表に関する仕組みや可能性の検討や道路植樹・シンボルツリーのあり方、ハモニカ横丁のあり方など（南）。

今年度は未実施。

②商業地活性化部会・UD 部会合同

事業内容：　要請に応じて検討・対応（山田、河田）

特に要請はなく未実施。

2. まちづくりへの市民参画に関する情報収集及び研究

③まちづくり支援活動の実施

事業内容：　コミュニティ協議会等と連携の深化を行い協力要請には適時対応（全員、役員）

- ✓ けやきコミセンのエレベーター設置について（村井）
  けやきコミュニティセンターのエレベーター設置に向けて以下の協力を行った。
  ・5 月 27 日（日）市の説明会において設置位置に関する資料の作成。
  ・1/30 の模型を製作し、市役所、コミセンに展示し理解を求めた。
- ✓ その他、東町コミュニティセンター（九浦の家）の「つどい」において外環地上部街路話し合いの会中間まとめ編集会議の進捗状況の報告を行った（村井）。
  2018 年 2 月 22 日（木）に実施。

§2. まちづくり事業

1. 地区計画等のまちづくりの構想や計画の策定

④武蔵野市都市計画マスタープラン推進状況のモニタリング方策検討及び実施

事業内容：　都市マスの推進状況をモニターし、適時ウェブサイトに報告（役員）

- ✓ 役員についてはウェブサイト研修を通じてウェブサイトへのアップロード報告が可能なようにする。
  役員向けウェブ研修は実施したものの、役員からの投稿やウェブサイト掲載はなかった（篠原）。
- ✓ 会員については自由ブログの設置を検討する。
  当面はブログへの自由書き込みではなく、投稿ベースで進めることとした。投稿は会員お二人からあった（篠原）。

2. まちの利便性、景観、環境、安全等の保全や向上に資する実践活動

⑤コミュニティ支援事業

事業内容：　コミセンやコミュニティからの要請に基づき検討・対応する（役員）。

前述のように東町コミュニティセンター（九浦の家）からの要請に基づき村井講師を派遣。

⑥「外環の地上部街路に関する話し合いの会」への司会者の派遣等

事業内容：　中間まとめの会に進行役を派遣し編集作業をサポートする（村井、西村）

平成 29 年度は、28 年度と同様 5 名の構成員による作業部会が 11 回開かれた（平成 29 年 7 月 28 日、8 月 31 日、10 月 5 日、11 月 2 日、11 月 27 日、12 月 14 日、平成 29 年 1 月 18 日、2 月 1 日、2 月 13 日、3 月 9 日、3 月 20 日）。現在年度代わりで中断中である。

⑦三鷹駅北口地区まちづくり協議会・準備会への支援

事業内容：　「三鷹駅北口街づくりビジョン」の策定に基づくまちづくりが具体的に実施されていく見通し。駅西側の民間大規模開発も着工される予定。こうした状況から、準備会の活動は今後より重要性を増すことから、引き続きサポートを行う（高田、塩澤）。

準備会には当会高田副代表が会長を担い、塩澤会員がアドバイザーとして参加している。平成 29 年度準備会は、主に、三鷹駅北口街づくりビジョン案に準備会として意見書提出、飯田ホールディングス本社社屋建設に対する近隣関係住民への支援、住友不動産武蔵野中町計画に対する基本構想への意見書提出、調整会開催請求、調整会結果を踏まえた市長への要望書提出及び懇談を実施した。これらについて、要所でまちづくり会議メンバーにも個別に助言を求めながら、高田、塩澤が他の準備会会員と協議しながら対応した。

⑧市民が憩えるプレイス西通りをつくる会（プレイス西通りの会）への支援

事業内容：　武蔵境地区の都市計画道路３・４・27 号線の都市計画決定を変更し、「公園と一体化したみち」を設け、歩行者の安全な移動と快適な憩いを享受できる空間を実現する（中島、田中、篠原）。

都市整備部への助言や働きかけを通じ、最終的に市は３・４・２７号線の事業計画の更新は行わないということで、2 月 2 日付けで東京都に事業休止届を提出した。その後、武蔵野市議会議員に対しては、都市整備部長名で、3 月 22 日付けで情報提供文書を提示しており、いよいよ、来年度からは計画変更に向けて、３・４・２７号線のあり方の議論に積極的に関わることになる。

§3. まちづくりに関する教育事業

1. まちづくりに関する講習会、シンポジウム等の開催

⑨講習会、シンポジウム等の開催

事業内容：　景観勉強会及びウォッチングを実施（南）

事業内容：　古民家ウォッチングを実施（山田）

事業内容：　リビング・ラボ、鎌倉事例講演会を実施（長谷川）

2. まちづくりに関する講師派遣

⑩まちづくり出前講座の実施

事業内容：　地域団体やコミセン等の要請に応じて、講師を派遣する（継続／役員、専門性に応じて会員にも協力をお願いする）

前述のように東町コミュニティセンター（九浦の家）からの要請に基づき村井講師を派遣。

3. まちづくりに関する研修

⑪まちづくり探訪

事業内容：　まちづくり探訪の対象として銀座エリアを含めて検討。その他、会員からの希望や提案を募る（南、篠原）。

探訪企画は未実施。

§4. まちづくりに関する普及啓発事業

1. ホームページの開設・運営

⑫ホームページの一層の拡充等

事業内容１：　市内のまちづくり状況を速報の形で会員等に連携できるようなシステムの検討（篠原）

投稿があれば速報できるように対応済み。

事業内容２：　マニュアルに基づく役員向け研修を実施（篠原）

役員向け研修会を実施。

事業内容３：　過去のまちづくり会議の成果物や活動記録を順次アップロード（篠原）

現状、新規分の掲載が限度で、過去分の成果は十分にアップロードできていない。

事業内容４：　景観アワードやランキング情報のページを作成（篠原）

企画づくりと事業ができていないため未実施。

事業内容５：　ウェブコンテンツの体系的整理を検討・実施（篠原）

昨年度は未実施。

事業内容６：　ゲートページのイメージ写真（現状は仮の写真）の更新（山田、篠原）

ゲート頁の更新は、来年度に実施予定。

§5. まちづくり又はその研究や普及啓発を目的とする団体との情報交換及びネットワークの構築事業

⑬武蔵野市長、市議、まちづくり担当部門とのネットワークづくり

事業内容：　役員が対応する各事業において、ネットワークづくりを実施する（役員）

旧市長との懇談会を打診済み。来年度早めに実施予定。各事業について、新市長や新副市長との対談を実施（プレイス西通りや境山野緑地など）。

⑭くらしフェスタむさしの 2017 への参加

事業内容：　くらしフェスタむさしの 2017 に参加する。今年度は、武蔵野市が景観ガイドラインを策定したので、「景観ガイドラインのポイント（仮）」とする方針（内門、南）。

「景観ガイドラインのポイント」について報告書を作成し、くらしフェスタむさしの 2017 にて 2017 年 9 月 22 日～23 日に展示、報告を行った。全体テーマは「かわる時代　かわる暮らし」。また、二次展示を 11 月 12 日の青空市で実施した。

⑮「武蔵野の森を育てる会」企画会議等への参加やシンポジウムの開催

事業内容：　引き続き「武蔵野の森を育てる会」との情報交換を行い、クリーンセンターに武蔵野育ちの雑木を植える企画の実行に向けて準備を進める（村井、田中）。

境山野緑地からクリーンセンターへの樹木移植については、対象エリア（管理棟、（仮称）エコプラザ周辺）の計画が進んでおらず進展はなかった。

29 年度末に境山野緑地で、支障木伐採の工事発注があり、緊急性のある当面の対応について、「武蔵野の森を育てる会」と検討し、市との調整を行った。

境山野緑地の若返りについて、提言書から 10 年が経過しているにもかかわらず、何も方針が示されていないことから、計画策定に向けて、当会も武蔵野の森を育てる会と共同でアクションをおこすこととした。具体的な方策として、連続シンポジウム「武蔵野市の緑の保全・活用を考えるシンポジウ

ム」を企画し、行政をはじめとして市民や多くの活動団体とのネットワークを図ることとした。29 年度は、2 月 12 日（月）武蔵野芸能劇場で第１回のシンポジウムを、「武蔵野の雑木林を未来につなぐ」をテーマにして行い、95 名の参加を得て、雑木林を未来につなごうという宣言を採択した。

⑯地域高齢化による空き家空き地とコミュニティ活性化を講ずる鎌倉今泉台のエリアマネジメントに学ぶ-交流会の実施

事業内容：　当初予定の事業ではないが、新規会員の長谷川氏の企画で新たな動きとして出てきたリビング・ラボ調査に着手（長谷川、篠原）

11 月 26 日（日）13 時 30 分～15 時に、地域高齢化対策のために、コミュニティ活動や空き家・空き地対策、介護、さらに新しい地域活動リビング・ラボに積極的に取り組んでいる NPO 法人タウンサポート鎌倉今泉台の理事長、丸尾恒雄氏をお招きし、同会の活動についてご紹介いただくとともに、質疑や情報交換を行い、当会との交流を図った。場所は吉祥寺商工会館講座室。当会会員のみならず、三鷹市民の参加もあり、意義ある議論ができた。

§6. その他目的を達成するために必要な事業・新たに取り組む事業

⑰「まちづくり会議・むさしの」の定例会・役員会等の実施

事業内容１：　次の通り定例会を実施した（内門）。

- ✓ 第 1 回定例会：7 月 14 日（金）　19：00～21：30、消費生活センター講座室
- ✓ 第 2 回定例会：9 月 8 日（金）　19：00～21：30、消費生活センター講座室
- ✓ 第 3 回定例会：11 月 17 日（金）　19：00～21：30、消費生活センター講座室
- ✓ 第 4 回定例会：2018 年 1 月 19 日（金）　19：00～21：30、消費生活センター講座室
- ✓ 第 5 回定例会：2018 年 3 月 9 日（金）　19：00～21：30、消費生活センター講座室

事業内容２：　役員会を必要に応じて招集する（内門）。

- ✓ 2017 年 4 月 14 日（金）19:00～21:30 消費生活センター講座室
- ✓ 2017 年 11 月 29 日（金）19:00～21:30 消費生活センター講座室

以上

別紙１－２　平成29年度収支計算書

平成 29 年度収支計算書

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

単位：円

	収入	支出
会費・入会金		
入会金	1,000	
会費	56,000	
事業		
(1)まちづくり事業		
外環の地上部街路話し合い	8,000	
高齢化に伴う地域の活性化		17,702
武蔵野の緑を育てる		23,213
(2)教育事業		
講師派遣	18,000	
(3)普及啓発事業		
ウェブサイト運用		57,755
その他収入		
寄付	650	
利息	7	
事務管理費		
消耗品		2,070
通信費		600
合計	83,657	101,340

収支差額	−17,683
期首繰入（前期残高）	764,883
期末繰越（当期末残高）	747,200

別紙１－３　平成29年度監査報告書

「特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの」の平成 29 年度の会計処理について、
会計原則に基づいて精査しましたところ、全てが適正に処理されていることを確認しました。

平成 30 年 4月24日

特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの

監事　　勝倉　啓仁

監事　　清本　和子

別紙１－４　役員の変更

任期満了にともない、下記のとおり役員を変更する（任期：平成 30 年 7 月 1 日から 2 年間）。

法人役員

旧	新
役職名　氏 名	役職名　氏 名
理事長　篠原　二三夫	理事長　篠原　二三夫
理　事　南　賢二	理　事　南　賢二
理　事　山田　朗	理　事　山田　朗
理　事　高田　典夫	理　事　高田　典夫
監　事　清本　和子	監　事　竹山　悠紀子
監　事　勝倉　啓仁	監　事　青木　一郎

執行役員

旧	新
役職名　氏 名	役職名　氏 名
代　表　篠原　二三夫	代　表　篠原　二三夫
副代表　南　賢二	副代表　南　賢二
副代表　山田　朗	副代表　山田　朗
副代表　村井　寿夫	副代表　村井　寿夫
副代表　高田　典夫	副代表　高田　典夫
副代表　河田　弘昭	副代表　河田　弘昭
事務局長　内門　秋弘	事務局長　内門　秋弘
監　事　清本　和子	監　事　竹山　悠紀子
監　事　勝倉　啓仁	監　事　青木　一郎
	顧　問　清本　和子
	顧　問　勝倉　啓二

別紙２－１　平成30年度事業計画

※今年度から記載方法を変更する。東京都への報告の枠組みにしたがうのでは書きにくいので、実際の事業別に記載し、東京都の報告時点で、元の枠にあてはめることにする。

§１. まちづくりに関する調査研究事業

１. 景観をテーマにしたまちづくり事業

事業内容１：　武蔵野市景観ガイドラインの検証及び市民向け手引き等のフォローアップ、及び景観に関する市民意識を高めるための啓蒙活動（南）

本年度開催された「まちづくり条例」に基づく調整会においても、景観問題にかかわる調整は行われたものの、必ずしも景観施策や景観ガイドラインが有効に機能したとは言えない状況にある。現状として課題となる点は①景観の公共性に対する市民意識の向上（景観まちづくりの手引きの活用等）、②景観施策に関する市民の知識向上（景観ガイドラインの活用促進等）、③景観ガイドラインの内容の充実（記述内容の検証・改善等）であり、これら全体について今年度以降も市が実施する景観啓発事業等と連携あるいは支援を行いつつ、武蔵野市の都市景観の向上へと結び付けていく。

事業内容２：　その他、ウォッチング、事例視察など（南）

事業内容１と絡めて、テーマ型の景観ウォッチングを適宜実施し、市民の景観意識の向上や景観ガイドラインの内容充実へと結び付ける。

２. 古民家ウォッチングの継続と利活用方策の検討

事業内容３：　古民家から KOMINKA へ（山田）

海外からの観光客が昨年度 3000 万人近くなり、古民家は日本文化へ触れられる良い日本文化発信拠点として見直されている。国も国交省、観光庁が中心となり、古民家をベースに空き家対策や観光資源など色々な施策を一気に増やしている。法体系も現在の建築基準法では不適格の要件が新たな条例で改築や移築が可能となった。

地方に限らず東京にも未々多くの古民家が残っており、古民家カフェに転用されたり、スタジオやギャラリーで活用されている。武蔵野市だけでなく近郊を含めて古民家の現状をウォッチングし、まちづくりの切り口として新たな視点で古民家ウォッチングを昨年に続いて実施する（山田）。

３. 都市計画マスタープランの見直しに向けた対応

事業内容４：　武蔵野市都市計画マスタープランの見直しへの対応（役員、篠原）

都市計画マスタープランの見直し準備のために、市は平成 30 年度予算として「都市計画マスタープラン改定準備費」を 500 万円ほど計上している。都市計画マスタープランの見直しには市民と専門家の視線が共に重要であることから、市民会議の開催などを含め、見直しへの協力を市に申し入れ、見

直しに向けて必要なモニタリングや調査活動、タウンウォッチングを行う。景観や古民家、雑木林、玉川上水、農地なども重要な視点になるものと考える。

4.「外環の地上部街路に関する話し合いの会」への司会者の派遣等

事業内容５：　中間まとめの会に進行役を派遣し編集作業をサポートする（村井、西村）

中間まとめの編集については、まだ作業ボリュームがあるため、早めの再開をお願いしている。作業のスピードはアップしたが、今年度も担当者 1 名が異動し、ワーキングのコンサルタントも切り替わるため、能率の低下が予想され、構成員の負担も大きい。早く報告書をまとめ、話し合いの会を再開する必要がある（村井、西村）。

5. 三鷹駅北口地区まちづくり協議会・準備会への支援

事業内容６：　住友不動産の武蔵野中町計画について（高田、塩澤）

平成 30 年度準備会は、住友不動産の武蔵野中町計画について、調整会で事業者と協議を継続していくことで合意したことから、二期工事も含めてよりよい開発になるように協議していく。さらに、その南側街区についても開発が予定されていることから、それらも含めて、当該エリアにおいて協議会の設立に向けた可能性を探っていく状況である。

事業内容７：　「三鷹駅北口街づくりビジョン」について（高田、塩澤）

「三鷹駅北口街づくりビジョン」に関連して、市が公共空間の利活用に向けた検討の場を設置し、方向性を議論していく予定であることから、それに参加し準備会メンバーも関わるタワーズマルシェの経験を生かすことになる見込みである。こうした状況から、準備会の活動は今後より重要性を増すことから、引き続きサポートを行う。

6. 市民が憩えるプレイス西通りをつくる会への協力

事業内容８：　プレイス西通りについて（中島、清本、田中、篠原）

武蔵境地区の都市計画道路３・４・27 号線の都市計画決定を変更し、「公園と一体化したみち」を設け、歩行者の安全な移動と快適な憩いを享受できる空間を実現する。昨年度末に実現した事業計画の休止を受け、今後は、都市計画変更の手続きと並行して、３・４・27 号線をいかに歩行者優先道路として市民にとって望ましい形で、プレイスや観音院とともに一体的に整備していくか、市民の目線や要望に基づく提案を行うことが大きな課題となるので、まずは観音院や地元商工者、プレイス、市民、都市整備部とともに、どのようにして、望ましい公共空間を実現するのかを考える場を設けるべく活動する。

7.「武蔵野の森を育てる会」とのコラボレーション事業の実施

事業内容９：　クリーンセンターに武蔵野育ちの雑木を植える企画について（村井、田中）

Ｈ30 年度は設計年であるので、具体的な実行のために「武蔵野の森を育てる会」の協力を得て市に働きかける。

事業内容 10：　「武蔵野市の緑の保全・活用を考えるシンポジウム」の実施（田中、村井、篠原）

緑の基本計画の見直しに対応し、「武蔵野市の緑の保全・活用を考えるシンポジウム」を実施中。昨年度の「武蔵野の雑木林を未来につなぐ」に引き続き、第２回「玉川上水の自然を守り育てる（仮題）」（6 月 17 日午後）、第３回「まちなかの農地の景観と生物多様性（仮題）」（8 月予定）を実施し、提言を市や委員会に提示する。

8.「武蔵野市空家等対策計画（仮称）検討委員会」への市民委員派遣

事業内容 11：　空家等対策計画づくりへの助言（篠原）

昨年度は合計で 4 回の検討委員会に出席し意見を述べてきたが、引き続き今年度も委員会の継続が予定されていることから、引き続き、委員会へ出席と意見申し出を行うものとする。また、今後、パブリックコメントが求められる場合は、団体としての意見書提出も行う予定。参加を通じて得た知見については、古民家の活用等の検討においても参考にする。

9.「くらしフェスタむさしの2018」への参加

事業内容 12：　クラシフェスタむさしの 2018 への参加（内門、篠原）

今年度のテーマは、武蔵野市空家等対策（仮称）検討会の知見をもとに、公表可能な範囲で「武蔵野市の空家等対策について（仮）」とする方針。

10.「リビング・ラボ」の調査研究等

事業内容 13：　「リビング・ラボ」実現に向けた継続調査（長谷川）

昨年度に行ったリビング・ラボの事例研究（鎌倉市今泉台の NPO に報告をお願いした件）に引き続き、今年度も情報収集を行い、武蔵野市内で仮称「武蔵野リビング・ラボ」事業として立ち上げる可能性を検討している。具体的には、地域共生型映画サロンを中心に、健康歌声サロン、お昼のお弁当会の三位のコラボ、ワン・パッケージ化の実現に向けて、現在、関連筋に参加しながらリサーチ活動中。

11. 成蹊大学経済学部との地域課題に関するコラボレーション

事業内容 14：　成蹊大学とのコラボを実現する（篠原）

成蹊大学経済学部井出多加子教授（学部長）から、同学部のカリキュラムの一環として、景観や地元支援につながる活動を当会と共同研究したいとの申し入れがあり、9 月頃から企画を立てて、協定書を締結した上、実施する方向で合意。冬にかけてイルミネーションやプロジェクションマッピングを活かした吉祥寺等の景観づくりをひとつのテーマとして取り組む案がある。昨年度はイタリアのフィレンツェの F-LIGHT フェスティバル等につき経済学部で講演。

12. 長期計画見直しへの協力

事業内容 15：　第６期長期計画策定に向けた市との協働を進める（南、山田、村井、塩澤、篠原他役員及び会員）

第６期長期計画の策定に際し、市民会議や策定委員会等への協力、団体としての意見表明を行う（役員、会員）。現時点では市の企画調整からの依頼に基づき、7 月 1 日（日）に開催予定の都市基盤及び緑・環境分野の市民会議向けに、市民への助言を行う専門家として、都市基盤分野は山田副代表及び塩澤氏、緑・環境分野は南副代表及び村井副代表の４名を推薦済み。今後、議論の推移をみつつ、策定委員会や団体意見交換会、ワークショップ、圏域別市民意見交換会、地域ワークショップなどへの協働を進めることとする。

13. その他事業

事業内容 16：　その他の新規事業（役員、会員）

新たな事業を設けることが適切な場合、役員会にて検討し、柔軟に対応する。

§2. まちづくりに関する支援･連携事業

事業内容 17：　コミュニティ・まちづくり支援活動の実施（役員、会員）

コミュニティ協議会等との連携の深化を行い、協力要請には適時対応する。

事業内容 18：　まちづくり出前講座の実施（役員、会員）

地域団体やコミセン等の要請に応じて講師を派遣する。

§3. まちづくりに関する普及啓発事業及びネットワークづくり

事業内容 19　講習会、シンポジウム等の開催（役員、会員）

景観や古民家ウォッチングを開催する（南、山田）。第２回及び第２回の「武蔵野市の緑の保全・活用を考えるシンポジウム」を実施する（田中、村井、篠原）。役員や専門分野をもつ会員を講師とした講習会などを開催する（役員、会員）。

事業内容 20　まちづくり探訪（南、その他の役員、会員）

武蔵野市内に限らず、参考となるまちづくり事例を探訪する。

事業内容 21　武蔵野市長､市議､まちづくり担当部門、市内外まちづくり団体とのネットワークづくり（役員、会員）

各事業を通じて、市長や副市長、市議、まちづくりやみどりの担当部門などとのネットワークづくりを行う。市内外まちづくり団体とのネットワークづくりを行う。

§4. 事務局業務及びホームページの維持管理･更新等

事業内容22　定例会の開催と運営（内門）

次の通り定例会を開催する。

- ✓ 7 月 13 日（金）、消費生活センター講座室
- ✓ 9 月 14 日（金）、同上
- ✓ 11 月 9 日（金）、同上
- ✓ 2019 年 1 月 18 日（金）、同上、終了後新年会実施
- ✓ 2019 年 3 月 8 日（金）、同上

事業内容23　役員会の開催と運営（内門）

次の他、必要に応じて役員会を招集する。

- ✓ 2018 年 4 月 13 日（金）19:00～21:00 消費生活センター講座室（既実施分）

事業内容24　各種届け出業務や会計業務、資料等印刷準備（内門）

東京都への NPO 関係報告や定例会・役員会等の資料作成準備業務、予決算・出納会計業務などを行う。

事業内容25　ホームページの維持管理・一層の拡充等（山田、篠原）

ゲートページのイメージ写真（現状は仮の写真）を新たなものに更新する（山田）。

ウェブコンテンツの体系的整理を検討・実施し、過去のまちづくり会議の成果物や活動記録を順次アップロードする。各事業の進捗を示し、推進させるための情報掲載を行う。武蔵野市内に加え、国内外他地域におけるまちづくり参考事例を掲載する（篠原）。

以上

別紙２－２　平成３０年度予算

平成 30 年度収入見込み：

昨年度繰越額	747,200 円	
会費収入	56,000 円	会員数 28 人
活動による収入	30,000 円	外環、講師代他見通し
収入合計	833,200 円	

平成 30 年度支出見込み：

事業内容	金　額	備　考
1. まちづくりに関する調査研究事業		
①景観をテーマにしたまちづくり事業	3,000 円	資料・茶代等活動費
②古民家ウォッチングの継続と利活用方策の検討	3,000 円	同上
③都市計画マスタープランの見直しに向けた対応	3,000 円	同上
④外環の地上部話し合いの会への司会者の派遣等	3,000 円	同上
⑤三鷹駅北口地区まちづくり協議会・準備会への支援	3,000 円	同上
⑥市民が憩えるプレイス西通りをつくる会への協力	3,000 円	同上
⑦武蔵野の森を育てる会とのコラボレーション事業の実施	30,000 円	印刷費・講師謝礼分担
⑧空家等対策計画（仮称）検討委員会への市民委員派遣	なし	特に不要
⑨くらしフェスタむさしの2018への参加	なし	特に不要
⑩リビング・ラボ等の調査研究等	3,000 円	資料・茶代等活動費
⑪その他事業	5,000 円	予備費
小計：	56,000 円	
2. まちづくりに関する支援・連携事業		
①コミュニティ・まちづくり支援活動の実施	なし	特に不要
②まちづくり出前講座の実施	なし	特に不要
小計：	なし	特に不要
3. 普及啓発事業及びネットワークづくり		
①講習会、シンポジウム等の開催	3,000 円	企画準備費
②まちづくり探訪	3,000 円	企画準備費
③ネットワークづくり	5,000 円	茶代・資料作成費
小計：	11,000 円	
4. 事務局業務及びホームページの維持管理・更新等		
①定例会・役員会の開催と運営	5,000 円	資料コピー代等
②各種届け出業務や会計業務、資料等印刷準備	3,000 円	資料作成コピー代等
③ホームページの維持管理・一層の拡充等	100,000 円	維持管理 6 万円
小計：	108、000 円	
合計：	175,000 円	

収支差額 （次期繰越額）：　658,200 円

参考: 平成30年度会員名簿

1	代　表	篠原　二三夫	理事長
2	副代表	南　　賢二	理事
3	〃	河田　弘昭	
4	〃	高田　典夫	理事
5	〃	村井　寿夫	
6	〃	山田　朗	理事
7	監　事	竹山　悠紀子	監事
8	〃	青木　一郎	監事
9	事務局長	内門　秋弘	
10	顧　問	清本　和子	
11	〃	勝倉　啓仁	
12	会　員	塩澤　誠一郎	
13	〃	西村　まり	
14	〃	高田　昭彦	
15	〃	田辺　軌夫	
16	〃	深田　貴美子	
17	〃	川名　雄二	
18	〃	内山　智子	
19	〃	中島　敏	
20	〃	手塚　一郎	
21	〃	菊池　太郎	
22	〃	中村　郁博	
23	〃	山本　ひとみ	
24	〃	三浦　香澄	
25	〃	原　　利子	
26	〃	田中　雅文	
27	〃	長谷川　正人	
28	〃	梅川　誠	